

令和6年度「土質・地質技術者生涯学習協議会」概略議事録

日 時：令和7年3月24日（月） 16:00～17:00

場 所：全地連会議室（対面＋WEB 会議）

出席者：

（一社）日本応用地質学会（小俣会長）
（国研）産業技術総合研究所（斎藤委員）
日本情報地質学会（坂本委員） WEB
（一社）日本地質学会（佐々木委員）
（公社）日本地下水学会（小原委員） WEB
（一社）物理探査学会（内藤委員） WEB
（一社）全国さく井協会（岡崎委員）
（協）関西地盤環境研究センター（金津委員） WEB
山口大学理学部地球圏システム科学科（太田委員）
NPO 日本地質汚染審査機構（山田委員） WEB
フィールドの達人企画委員会（大石委員）
（一社）全国地質調査業協会連合会（須見、高橋、相澤、廣田）

議事および議決内容など

1. ジオ・スクリーニングネットの運用状況について 資料①（P3）

- （1）利用登録者数
- （2）CPDプログラム（講習会等）の登録状況
- （3）Web サイトの改修について

→ 上記（1）～（3）の議題について、事務局より説明があり、内容について確認された。

また、新たなCPD 重み係数表は、今年4月より適用することが確認された。

→ 次のような意見等があった。

（小俣会長）過去のポイントの入力がうまくいかなかったということもあったが、CPD の入力参考ポイントの表示がなくなったということは、これが解決されたと理解してよいのか。

（全地連）ご認識の通りである。なお、令和7年5月を目安にサイトの更新を予定している。

2. CPD関連組織の活動状況について 資料②（P6）

- （1）土質地質技術者生涯学習協議会で対応する主な渉外活動

→ 上記の議題について、事務局より説明があり、内容について確認された。

- （2）建設系CPD協議会における活動状況について

→ 上記の議題について、事務局より説明があり、内容について確認された。

→ 次のような意見等があった。

(小俣会長) 日本技術士会の実績管理委員会については令和7年4月22日の開催が決定した。
(全地連) シンポジウムについては、2年に1回の開催とするのが一般的であるので、来年度は開催しないということは問題ないと考えている。

(3) 千葉市 CPD 認定団体における活動状況について

(4) 外部問合せの対応状況について

→ 上記(3)、(4)の議題について、事務局より説明があり、内容について確認された。

→ 次のような意見等があった。

(小俣会長) ジオスクリーニングネットにおいて、年間の推奨取得 CPD 単位数についてはもう少し前面に出してもよいのではないかと。

(全地連) 推奨取得 CPD 単位数の記載は HP 上の「その他」に記載されているため、トップページの最下部に「その他」へ繋がるリンクを掲載することで対応する。

3. 令和6年度収支報告および令和7年度会費について 資料③ (P15)

→ 上記の議題について、事務局より説明があり、内容について承認された。

→ 次のような意見等があった。

(坂本委員) 4月1日より「日本情報地質学会」から「日本情報地球学会」に変更となる。

(内藤委員) 物理探査学科の住所変更があるため、変更後の住所については改めてメールにて事務局へご連絡する。

(全地連) 全国さく井協会についてはすでに住所変更の連絡をいただいているため、変更後の住所へ送付させていただく。

4. 協議会の次回開催について 資料④ (P16)

→ 上記の議題について、事務局より説明があり、内容について確認された。

→ 次のような意見等があった。

(全地連) 2月に入ったら改めて日程調整のご連絡をさせていただく。

5. 協議会参加組織における CPD の活動状況について (自由討議・資料なし)

→ 次のような意見等があった。

(太田委員) 山口大学の地質技術者教育センターでは研究発表会の開催を開始した。CPD の発行も予定しているため、その際にはジオスクリーニングネットへ登録を行う。山口大学の OB や県内の事業所などに参加者を絞ろうと考えているが問題ないか。

(全地連) 山口大学の方で共催および主催ということであれば問題ない。

(全地連) 全地連事務局へ実施した内容が自己学習として認められるのか、確認したいという問合せが入ることがあるが、地質に関係ないものでも登録はできることをご理解いただきたい。

(山田委員) NPO 日本地質汚染審査機構ではオンラインでのセミナーなどを実施する機会が増えている。その中で7割程度の受講者が CPD の発行を希望されるような状況である。CPD 発行においてはオンラインへの入退室時間の確認とアンケートへの回答によって判断を行っている。

(小俣会長) 日本応用地質学会では基本的に個人で管理をいただいております、ログを確認しあまりにもおかしいと思う場合のみ CPD を発行しないこととしている。

(佐々木委員) 日本地質学会も同様に自己管理とし、ログがあまりにもおかしい場合には CPD は発行しない。

6. その他

以上